

コミュニティ・スクールだより

No2

地域学校協働活動の様子

地域の住民や団体の皆様の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えていただいております。どの取組みも、地域との“つながり・きずな”が実感できるものです。その一部を紹介します。

三ツ城放課後子供教室（わくわく教室）

本校の空き教室等を活用して、木曜日の放課後、“三ツ城放課後子供教室”が開かれています。参加希望児童（3年生以上）を対象に、子供たちの安全・安心な活動拠点（居場所）づくりのため、地域や大学生ボランティアの方々の参画を得て行われている事業です。子供たちがのびのびと活動を楽しんだり、地域や大学生の方々と楽しく交流できるよう工夫されています。



4月下旬関係者が集まって、“令和6年度三ツ城放課後子供教室（わくわく教室）”を開催するための打ち合わせ会が行われました。年間計画、実施教室及び場所や活動時間、参加児童募集にあたってなどが協議されました。今年度も「茶道・折り紙・工作・ハンドベル・オセロ・バトミントン・ヒップホップ・レクレーション・世界の遊び」の9つの教室が用意されています。

各教室の指導者である地域や広島大学サークルの皆様、この1年間どうぞよろしく願いたします。

右見て・左見て・右見て・よし（交通安全教室）

1年生と4年生並びにPTA安全委員会の方々が参加しての、交通安全教室が開かれました。交通指導員さんから、1年生の子供たちには実技を交えて“正しい歩行、正しい横断歩道の渡り方、道路標識や信号の見方”などを、4年生の子供たちには“正しい自転車の選び方、自転車の点検と合図、正しい自転車の通行方法 ヘルメットの着用”などを具体的に教えていただきました。また、PTAの皆様には“子供たちが道を横断する際の交通旗の使い方、安全確保のための注意点”などの話を聞いた後、1年生が行った危険場所を想定しての歩行訓練のサポートをしていただきました。

統計資料から、小学生の交通事故の原因の多くは、歩行者が“飛び出し”，自転車は“安全不確認”です。また、歩行者・自転車事故のうち約半数が自宅から500M以内で起こっています。日頃から交通ルールを守り、自らの安全に気を付けることを学びました。



交通指導員並びに市役所危機管理課の皆様、ご支援・ご協力ありがとうございました。